

令和5年度

シラバス（普通教科）

～ 3 年 ～



鹿児島県立伊佐農林高等学校

3年 普通教科

国 語 P 1

地歴公民 P 3

数 学 P 5

理 科 P 7

保健体育 P 9

外 国 語 P 11

現代文B	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	農林技術科・生活情報科 第3学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、表現し、読書することによって人生を豊かにする態度を養う。
使用教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 新編現代文B (教育出版) ・補助教材 国語必携パーフェクト演習 (尚文出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学習のねらい	備考 (学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
第 1 学 期	・随想	4	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が事実から仮説を導き出す際の考え方について理解する。 ・筆者の体験の中に描かれる登場人物の言動から、それぞれの人物像や心情を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートの取り方の確認 ・感想文 	中間 考査
	・小説1	5 6	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の構成とストーリーの展開を把握して、登場人物の心情の変化を丁寧に読み取ることで、小説の読解力の向上をはかる。 ・語句の意味や表現上の工夫を調べ、語彙力や表現力を養う。 ・作品の主題について様々な視点から考え、読書の幅を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典の活用 ・俳句実作 	期 末 考 査
	・俳句 ・作文	7	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で俳句を作ることを通して俳句に親しむ。 ・就職や進学に向けての作文練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助教材活用 	
<p>【課題・提出物等】 春休み課題, 定期考査訂正プリント, 授業ノート, そのほか授業で取り扱った演習プリントなど</p>					
<p>【第1学期の評価方法】 定期考査 (中間考査, 期末考査, 学年末考査) の成績および出席状況, 授業態度, 提出物など</p>					
第 2 学 期	・評論1 語彙力の向上	9 10	<ul style="list-style-type: none"> ・指示語の内容や接続語のはたらきを正しく把握して話の筋を的確に理解する。 ・具体例の役割を明確にして、具体→一般論という筆者の思考を読み取る。 ・二項対立に注目して論を捉える。 ・本文中に登場する語彙について学び、語彙力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助教材活用 	中 間 考 査
	・小説2	11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の構成を捉える。 ・登場人物の性格や心理について読み取る。 ・主題を読み取り、人間存在や自意識の問題について考える。 ・文章や文体の特徴を指摘し、まとめる。 ・作者や作品の成立した時代について学ぶ。 ・小説を読む楽しさを味わい、読書に親しむ態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朗読CDの活用 	期 末 考 査
	<p>【課題・提出物】 夏休み課題, 定期考査訂正プリント, 授業ノート, そのほか授業で取り扱った演習プリントなど</p>				
<p>【第2学期の評価方法】 定期考査 (中間考査, 期末考査, 学年末考査) の成績および出席状況, 授業態度, 提出物など</p>					

第 3 学 期	・小説3 (敬語・電話の対応)	1 2 3	・作品の寓意生について考える。 ・「掟」の意味するものや「掟」そのものについて考える。 ・社会人として必要な常識を身につける。	・補助教材の活用	学 年 末 考 査
	【課題・提出物等】 冬休み課題，定期考査訂正プリント，授業ノート，そのほか授業で取り扱った演習プリントなど				
	【第3学期の評点方法】 定期考査（中間考査，期末考査，学年末考査）の成績および出席状況，授業態度，提出物など				
【年間の学習状況の評価方法】 定期考査（中間考査，期末考査，学年末考査）の成績および出席状況，授業態度，提出物など					

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発問に対してしっかり考えましょう。 ・ノートには板書事項だけでなく，自分で考えたことや疑問に思ったことも記入しましょう。 ・予習をして授業に臨み，授業後は復習をしましょう。(教科書を読む，わからない語句の意味を調べる，など) ・「なぜ」と思ったことは，質問したり，調べたりしましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書，ノート，漢字テキストなどの教材を忘れないこと。 ・提出物はしっかりと取り組み，期限を守って提出すること。 ・説明を聞く，学習内容を書く，といった学習活動の切り替えをしっかりと行うこと。 ・授業内容をしっかりとノートにとること。

(2) 評価の観点，内容及び評価方法

皆さんの学習状況は，「知識・技能」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語について，表現と理解に役立つための音声・文法・表記・語句・漢字等を理解し，知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・漢字問題集の取り組み ・ノートの整理
思考・判断・表現	他者との関わりの中で，相手の説明を聞き取って理解したり，自分の考えを深めたりして，目的や場面に応じ，筋道を立てて表現し伝え合うことができる。目的に応じて文章を的確に読み取り，自分の考えを深め，発展させることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業態度 ・学習活動への取組 ・ノートの整理
主体的に学習に取り組む態度	国語や言語文化に関する関心を深め，生涯にわたって国語を尊重してその能力の向上を図り，進んで表現し，理解しようとする。また，進んで読書に親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・学習活動への取組 ・ノートの整理

3 担当者からのメッセージ

<p>2年次から引き続き，近代以降の文章に特化して学習を進めます。現代文を使って思考し，判断し，表現を行うことは生涯にわたって皆さんに必要なことです。高校での国語の学習を通して，自分自身の思考力，想像力，伝え合う力を伸ばしてください。また，就職や進学に必要な事柄について，各自で関心を持って学習に励んでください。</p>
--

<h1>日本史 A</h1>	単 位 数	2 単位
	学科・学年・学級	農林技術科・生活情報科 第3学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	1 前近代の日本の歴史をふまえ、近現代史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化を理解する。 2 歴史を現代の課題と関連させて主体的に学び、歴史的思考を養う。 3 日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。
使用教科書・副教材等	実教出版「高校日本史 A」 帝国書院「地歴高等地図」 演習ノート

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学習のねらい	備考(学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
第 1 学 期	序章 東アジアとの交流 原始・古代 中世 近世 第 1 章 近代への転換	4	・ 中学校での学習を復習しながら、前近代の日本の歴史の流れを学習します。		中間 考査
	①異国船の接近と幕藩体制の動揺	5	・ 江戸時代後期の対外関係と農村地帯の変化を考えます。	・ 「世界史 A」の欧米列強の世界進出とも関連させて学習する。	
	②開国と社会変動	6	・ 黒船は幕藩体制をどう揺るがしたか考えます。		
	③尊王攘夷から倒幕へ ④明治維新と新政府の成立	7	・ 薩摩藩と長州藩はなぜ手を結んだのか考えます。 ・ 年貢半減令はなぜ実現しなかったのか考えます。		
期	【課題・提出物等】 春季休業中の課題, 演習ノートなど 【第 1 学期の評価方法】 定期考査の成績, 提出物の内容, 授業への参加態度・意欲				
第 2 学 期	第 2 章 大日本帝国の形成 ①地租改正と富国強兵 ②アジア外交と国境問題 ③民権思想と国会開設運動 ④大日本帝国憲法の制定	9	・ 新政府は民衆の支持を受けたのか考えます。 ・ 日本が朝鮮を開港させたねらいを考えます。 ・ 自由民権運動の広がった理由を考えます。 ・ 憲法をなぜドイツに学んだのか考えます。		中間 考査
	第 3 章 大日本帝国の展開 ①朝鮮政策と日清戦争 ②日露戦争と朝鮮 ③朝鮮の植民地化	10	・ 日本はなぜ朝鮮・台湾を侵略したのか考えます。 ・ 村や町に残る忠魂碑から日露戦争を考えます。 ・ 朝鮮の植民地化とその後の政策をとらえます。	・ 国内政治と諸海外国とを関連させながら、日本はなぜ戦争をくりかえしたのか考察する。	
	第 4 章 両大戦間の世界と日本 ①第 1 次世界大戦 ②第 1 次世界大戦後の世界 ③普通選挙法と治安維持法	11	・ 第 1 次世界大戦になぜ日本が参戦したか考えます。 ・ 3・1 独立運動や 5・4 運動が求めたものはなにか考えます。 ・ 民衆運動の高まりに政府はどのように対応したか考えます。		
		12			
期	【課題・提出物】 夏季休業中の課題, 演習ノートなど 【第 2 学期の評価方法】 定期考査の成績, 提出物の内容, 授業への参加態度・意欲				

第3学期	第5章 15年戦争と日本・アジア ①満州事変と「満州国」 ②日中戦争 ③第2次世界大戦と日本 ④アジア太平洋戦争 ⑤戦争末期の国民生活 ⑥日本の敗戦 第6章 戦後改革と高度経済成長 第7章 現代の日本と世界	1	<ul style="list-style-type: none"> 日本はなぜ孤立の道を選んだのか考えます。 日本軍は中国で何をしたか学習します。 国民が戦争に動員されていく過程を学習します。 「大東亜共栄圏」とはどのようなものか考えます。 本土決戦体制の中身について考えます。 敗戦の意味を考えます。 戦後の日本はどうか変わったのか考えます。 <ul style="list-style-type: none"> 歴史を教訓に、日本が国際社会の中で果たすべき役割を考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 戦前, 戦後を通じて日本の民主化や経済発展等の歩みについて流れを理解し, 今後の日本のあるべき姿を考察する。 	学年末 末 考 査
	【課題・提出物等】 冬季休業中の課題, 演習ノートなど				
	【第3学期の評点方法】 定期考査の成績, 提出物の内容, 授業への参加態度・意欲				
【年間の学習状況の評価方法】 定期考査の成績, 提出物の内容, 授業への参加態度・意欲					

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 日々の授業を大切に, ノートをしっかりとること。 ノートには板書事項だけでなく, 自分で考えたこと, 感じたこと, 疑問に思ったこともメモしておくことが大切です。 毎時間最低10分間の復習を行うこと。 「なぜ」と思ったことは, 質問したり調べたりしましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ノートは毎授業しっかりとること。毎回その都度提出すること。 教科書, ノートには記名し, 授業が始まる前には机の上に準備しておく。 ノート, 課題などの提出物は, 指定された期日までに指定された方法で提出する。

(2) 評価の観点, 内容及び評価方法

皆さんの学習状況は, 「知識・技能」, 「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 日本の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色について, 基本的な事柄を理解し, その知識を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的な事象から課題を見出し, 日本の形成の歴史的過程と生活・文化の特色を日本史的視野にたつて多面的・多角的に考察できるか。 国際社会の変化を踏まえ, 公正に判断できるか。 諸資料を収集, 活用し, 考察した過程や結果を適切に表現できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 課題, 宿題 発表 ノート
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的な事象に対する関心と課題意識を高め, 授業に意欲的に取り組んでいるか。 国際社会に主体的に生きる社会の一員としての責任を果たそうとする姿勢があるか。 歴史的な事象を自ら追求する方法を身につけることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への参加の仕方や態度 課題, 宿題 ノート 発表

3 担当者からのメッセージ

日本の歴史について, 特に江戸幕府末期から現在にかけて考察を行います。現在の日本は, 過去のどの出来事に影響を受けているのかを学習し, 現在そして未来の日本について考察できるようにしていきましょう

数学 A	単位数	3 単位
	学科・学年	生活情報科・農林技術科 3 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	<p>1 数学 I の内容を復習することによって進路に必要な知識を身につける。</p> <p>2 数学 A を学ぶことによって、考える力や創造する力を高める。</p>
使用教科書・副教材等	<p>高校数学 A 新訂版（実教出版）</p> <p>高校数学 A 新訂版スタディノート（実教出版）</p> <p>実践テスト形式ベストステップ数学」 I・A（中部日本教育文化会）</p>

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (学習活動の特記事項, 他 教科・総合的な学習の時間・ 特別活動等の関連など)	考查
一 学 期	数学 I の復習 数の計算・整式・乗法公式 因数分解・無理数・1 次方程式 連立方程式・2 次方程式 1 次不等式・2 次不等式 2 次関数とグラフ 2 次関数の最大・最小 三角比・正弦定理・余弦定理 図形の計量・図形と角度 円の性質・百分率と歩合 濃度と速度・合同と相似 面積・体積	4	これまで学習した内容を総復習 することで、基礎的な公式や定理を確 認する。基本的な計算問題を解くこ とによって、進路に必要な問題が確 実に解けるようになる。	テキストとして、 ベストステップ数学 I・A（中部日本教 育文化会）を使用す る。	中間 考查 期末 考查
		5			
		6			
		7			
【課題・提出物等】 1. 基本計算プリント 2. ベストステップ I・A 3. 春休み課題					
【第 1 学期の評価方法】 ・定期考查（中間考查，期末考查）の成績が約 7 割 ・平常点（出席状況，授業態度，提出物など）が約 3 割					
二 学 期	1 章 場合の数と確率 1 節 場合の数 ①集合と要素 ②集合の要素の個数 ③和の法則と積の法則 ④順列 ⑤組合せ 2 節 確率 ①事象と確率(1) ②事象と確率(2) ③独立な試行と確率 ④反復試行の確率 ⑤条件つき確率	7	いろいろな場合の数を、数えあげ ることができる。樹形図がかける。 集合とその要素の個数について理 解することができる。 順列の意味がわかり、その計算が できるようになる。重複順列、円順 列を理解する。 いろいろな組合せの総数を計算す ることができる。また、最短距離の 道順など、順列の考え方で色々な場 合を計算することができる。 確率の基本的な考えが理解でき、 いろいろな事象の確率を計算するこ とができる。 余事象を利用する確率が理解で き、利用することができる。 独立な試行の意味が理解でき、反 復試行の確率の計算ができる。	日常生活における さまざまな事例を随 時とりあげ、その場 合の数を計算する。 日常生活における さまざまな事例を随 時とりあげ、その場 合の確率を計算する。	中間 考查 期末 考查
		9			
		10			
		11			
		12			

【課題・提出物等】 1. 基本計算プリント 2. 問題集スタディノート 3. 夏休み課題					
【2学期の評価方法】・定期考査（中間考査，期末考査）の成績が約7割 ・平常点（出席状況，授業態度，提出物など）が約3割					
三 学 期	3章 図形の性質 1節 作図 2節 三角形の性質 3節 円の性質	1 2 3	コンパスと定規を用いて，基本的な図形の作図ができるようになる。三角形のさまざまな性質を理解することができる。円のさまざまな性質を理解することができる。	日常的によく見かける平面図形に興味を持たせ，三角形や円の性質を理解する。	学年末考査
【課題・提出物等】 1. 基本計算プリント 2. 問題集スタディノート 3. 冬休み課題					
【三学期の評価方法】・定期考査（卒業考査）の成績が約7割 ・平常点（出席状況，授業態度，提出物など）が約3割					
【年間の学習状況からの評価方法】 各学期評点の平均値で，年間評点を算出し，年間評点によって評定値（5・4・3・2・1）を定める。					

(2) 評価の観点，内容及び評価方法

皆さんの学習状況は，「知識・技能」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・真剣に授業を受けようとする態度ができたか。 ・教科書，就職問題集，筆記用具がきちんと準備できていたか。 ・課題や提出物を指定された日までに提出したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業態度 ・提出物の提出状況
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の例題が理解できたか。 ・公式や定理が理解できるか。 ・学習した内容を説明できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の内容 ・授業での発言 ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中，学習内容の説明を聞き，それに関する発言や質問を積極的にすることができたか。 ・学習内容の定着のため，復習を中心に充実した家庭学習を行ったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・プリントや問題集のとりくみ状況

3 担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	授業では，単元の課題に対して，周りの人と一緒に考え，理解する活動を行います。理解できた内容を自分のものとして定着させるために，問題集やプリントでの反復練習が必要になります。授業→家庭学習（復習）→授業…の習慣を確立することが重要です。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書，問題集，プリント等授業に必要な物を準備すること。 ・板書事項や学習内容の要点をしっかりと記録すること。 ・提出物は，指定された日に確実に提出すること。
その他	間違いや分からないことをそのままにしていると，ますます理解が難しくなっていきます。その都度，先生や友達に質問したり教え合ったりしていくことが大切です。自分の進路実現を見据え，粘り強く，コツコツと，あきらめずに学力の向上に努めて下さい。

理科 (化学基礎)	単位数	2単位
	学科・学年	農林技術科・生活情報科・第3学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	<p>1. 化学と人間生活との関わりについて関心を高め、化学が物質を対象とする科学であることや化学が人間生活に果たしている役割を理解する。</p> <p>2. 原子の構造及び電子配置と周期律との関係を理解する。また、物質の性質について観察、実験などを通して探求し、化学結合と物質の性質との関係を理解し、微視的な見方ができるようにする。</p> <p>3. 化学反応の量的関係、酸と塩基の反応及び酸化還元反応について観察、実験などをおして探求し、化学反応に関する基本的な概念や法則を理解する。</p>
使用教科書・副教材等	<p>・教科書 高校化学基礎新訂版（実教出版）</p> <p>・副教材 高校化学基礎カラーノート改訂版（実教出版）</p>

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等の関連など)	考查	
一 学 期	序編 化学と人間生活	4	物質の性質や分離方法を理解し基本的実験操作を身につける。粒子の熱運動や物質の三態, 物質の成分について理解し, 科学的な思考力を高める。	硫黄の同素体をつくる実験 分子模型をつくる演習	中間 考 査	
	1章 物質の構成 1 物質の探究	5				
	2 物質の構成粒子	6	原子の構造や元素の周期性に興味を持ち, 周期表との関係を中心に性質を理解する。 金属結合・イオン結合・共有結合・分子からなる物質の性質を理解し, 結合の種類による性質の違いをとらえる。	合金生成の実験		期 末 考 査
	2章 物質と化学結合 1 イオン結合 2 共有結合 3 金属結合 4 粒子の結合と結晶	7				
【課題・提出物等】・小テスト ・授業ノート ・GW課題 ・実験レポート等						
【第1学期の評価方法】 ・定期考査（中間考査, 期末考査）の成績が約7割 ・平常点（出席状況, 授業態度, 提出物等）が約3割						
二 学 期	3章 物質量と化学変化 2 酸と塩基	7	酸と塩基の主な種類や性質, 日常生活との関連に興味関心を持ち, その強弱やイオンとの関連を理解する。	気体発生から1molの体積を検討する実験 中和滴定の実験	中間 考 査 期 末 考 査	
	3 酸化還元反応	9				
		10	中和反応と塩の生成, 量的関係を理解し, 計算できるようにする。中和滴定の実験の意味を理解し, 操作を身につける。 酸化と還元反応が電子の授受によるものであることを理解し, 反応式が扱えるようにする。			
		11				
		12				
【課題・提出物等】・夏休み課題 ・小テスト ・授業ノート ・実験レポート等						
【第2学期の評価方法】 ・定期考査（中間考査, 期末考査）の成績が約7割 ・平常点（出席状況, 授業態度, 提出物等）が約3割						

三 学 期	3 酸化還元反応	1 2 3	酸化還元の量的関係や、酸化剤、還元剤の反応を理解する。 日常生活や社会の中で扱われる酸化還元反応に興味関心を持ち、理解する。電池や電気分解、燃焼やさび等の酸化還元反応についての理解を深める。	電池・電気分解の実験	学 年 末 考 査
	【課題・提出物等】・冬休み課題 ・小テスト ・授業ノート ・実験レポート等				
【第3学期の評価方法】 ・学年末考査の成績が約7割 ・平常点（出席状況，授業態度，提出物等）が約3割					
【年間の学習状況からの評価方法】 第1学期，第2学期，第3学期の成績の平均値を年間の学習状況の評価とする					

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 教科書やワークの内容について、分からない言葉を質問しましょう。インターネット等で調べるのも良いです。 日常生活の中の生物的な事象について、興味を持って観察・分析・探求する視点を持ちましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> 生活情報科は人間の生活や栄養・繊維，農林技術科は生物内の反応について専門教科と関連させて理解しましょう。 進路や資格を含めた幅広い一般常識が身につきます。しっかり集中して学習しましょう。

(2) 評価の観点，内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 実験器具の操作方法を身に付けたか。 実験レポートをうまく作成できるようになったか。 化学的な探求方法を身に付けたか。 自分の結論を的確に表現できたか。 授業全般を通して化学の概念や知識を身に付けたか。 概念，法則などを理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業用ノートの内容 提出物の内容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 「事実（データ）」と「意見（仮説，結論）」の違いをわけて考える事ができたか。 見出した問題を分析的，総合的に判断することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業用ノートの内容 提出物の内容
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 化学的現象についての興味関心を高めることができたか。 授業，実験・観察に積極的に参加する意欲を持つ事ができたか。 謙虚な気持ちで学ぼうとする態度を持つ事ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 授業用ノートの内容 提出物の状況 出席状況

3 担当者からのメッセージ

「化学基礎」を通して、「勉強のやりかた」の勉強をしていきましょう。実験できる内容は限られていますが、人間の生活や専門科目とも関わりが深い科目です。しっかり取り組みましょう。

<h1>体 育</h1>	単 位 数	3 単 位
	学科・学年・学級	農林技術科・生活情報科 第3学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、身体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて計画的に運動ができる資質や能力を習得する。
使用教科書・副教材等	現代高等保健体育（大修館）・アクティブスポーツ（大修館）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学習のねらい	備考（学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など）	考 査 範 囲	
第 1 学 期	体づくり運動	4	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てる。 ・バレーボールとテニスでは、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 ・ソフトボールでは、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作、状況に応じた守備などによって攻防を展開できる。 ・フォークダンスでは、日本の民踊や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を強調して、音楽に合わせて多様なステップや動きと組み方で仲間と対応して踊ることができる。 		中間 考査	
	選択Ⅰ（球技・ダンス） バレーボール テニス ソフトボール フォークダンス	5				期 末 考 査
		6				
	体育理論	7		<ol style="list-style-type: none"> 1 社会の変化にともなうスポーツの役割と楽しみ方の変化を理解し、ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方について説明することができる。 2 「する」スポーツライフスタイルや現在の自分のスポーツライフの諸条件を整理し、今後の豊かな設計のための諸条件や工夫のしかたの例を挙げて説明できる。 		
【課題・提出物等】		特になし				
【第1学期の評価方法】		実技テスト等				
第 2 学 期	陸上競技	9	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて目標を設定し、走力、体力を高める。 ・中間走の高いスピードを維持して速く走ることができる。 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てる。 ・バスケットボールでは、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できる。 ・ソフトボールでは、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作、状況に応じた守備などによって攻防を展開できる。 ・テニスでは、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 		中間 考査	
	体づくり運動	10				
	選択Ⅱ バスケットボール ソフトボール テニス	11				期 末 考 査
		12				

	体育理論		<p>3 国内でスポーツを推進してきた従来の取り組みや自分が住んでいる身近な地域におけるスポーツ推進の取り組みについて例を挙げて説明できる。</p> <p>4 これまでとこれからのスポーツライフの違いや豊かなスポーツライフを創造していくための課題について例を挙げて説明できる。</p>		
	【課題・提出物】 特になし				
	【第2学期の評価方法】 実技テスト等				
第 3 学	選択Ⅲ サッカー バドミントン テニス	1	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの課題や自己の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を立てそれを生かした攻防を展開してゲームが出来るようにする。 		学年 末 考 査
		2	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカーでは、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できる。 		
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスとバドミントンでは、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 		
	【課題・提出物等】 特になし				
	【第3学期の評価方法】 実技テスト等				
【年間の学習状況の評価方法】 1学期、2学期、3学期の実技テスト等を含む「実技点の平均」、及び出席点を含めた「平常点の平均」を合算。					

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・基本動作をしっかり習得することが、高度な技術へ発展していきます。基本を嫌がらず、正しい構え、正しい動き、正しい操作を心がけましょう。 ・毎時間、自己・チームの課題を振り返り、次時の課題解決につなげるようにしましょう。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をしない。(授業を受けられません) ・遅刻をしない。(チーム編成等周りに迷惑がかかります) ・自分勝手な行動をしない。(けがや事故につながります)

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の多様性や体力の必要性について理解しているか。 ・運動の技能が身に付いているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・実技テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を発見し、解決に向けて思考・判断しているか。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えられているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動 ・レポート
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・準備、片付け等仲間と協力して行っているか。 ・健康・安全を確保しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度

3 担当者からのメッセージ

運動は、健康を維持する上で欠かすことはできません。体育の授業を通して、運動習慣を身に付けるとともに、生涯に渡って豊かなスポーツライフを設計できるような資質を養いましょう。また、仲間と協力して、思いやりの心や自己発現力を高めましょう。

教科 外国語	単位数	2単位
(科目) 英語コミュニケーションⅡ	学科・学年	農林技術科3年・生活情報科3年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	<p>「コミュニケーション英語Ⅰ」の学習内容を発展的に扱う科目です。中学校の復習と高校新出を織り交ぜながら、英語の基礎・基本をさらに学んでいきます。</p> <p>英語を通じて、積極的に人とコミュニケーションを図ろうとするとともに、得た情報や考えなどを的確に理解したり、伝えたい情報や考えなどを適切に相手に伝えたりするための、基礎的な能力を伸ばすことを目標とします。</p>
使用教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> 教科書：Vista English Communication II (三省堂) 副教材：Prep Englishプレップイングリッシュ [改訂版] (旺文社)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考(学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	
I	L.3 The Sagrada Familia	4	・スペインのサグラダ・ファミリアについてその歴史と建築について学ぶ。	・名詞を修飾する過去分詞と現在分詞	中間 考 査
	『Prep English』	5	・基礎的な文法事項の演習 ・不定詞 ・動名詞	・副教材プレップイングリッシュ	
	L.4 Nobel Prize Episodes	6	・国際的権威のある賞の1つ、ノーベル賞についてのこぼれ話を知って関心を深める。	・知覚動詞 ・tell ~ to do	期 末 考 査
	※『Prep English』	7	・基礎的な文法事項の演習 ・形容詞、副詞 ・比較表現	・副教材プレップイングリッシュ	
	就職問題にチャレンジ		・過去問を解く。	・プリント	
	【課題・提出物等】 春休み課題，授業ノート，授業で使ったプリント，テスト訂正ノートなど				
【第1学期の評点方法】 ・評点(成績) = 考查点 + 平常点 ・考查点は中間考査，期末考査の約7割，平常点は出席状況，授業態度，各種課題や提出物など約3割					
II	就職問題にチャレンジ	9	・過去問を解く。	・プリント	中 間 考 査
	L.5 Flowers in the Tomb	10	・ハワード・カーターがツタンカーメンの墓で最も美しいと思ったのは何だったかを知り，その理由を考える。	・使役動詞 ・関係代名詞 what	
	※Take a Break! 3		・英語のイディオムを知る。	・イディオムクイズ	
	就職問題にチャレンジ	10	・過去問を解く。	・プリント	期 末 考 査
	L.6 Becoming the Best	11	・錦織圭選手が困難を乗り越えてきたエピソードから，勝利の秘訣・成長について学ぶ。	・how to do ・It seems that ~.	
	【課題・提出物等】 夏休み課題，授業ノート，授業で使ったプリント，テスト訂正ノートなど				
【第2学期の評点方法】 ・評点(成績) = 考查点 + 平常点					

・ 考査点は中間考査，期末考査の約 7 割，平常点は出席状況，授業態度，各種課題や提出物など約 3 割					
III	L.7 The Galapagos Islands	12 1	・ 今，ガラパゴス諸島に起こっていることとは何かを知る。	・ 現在完了進行形 ・ 形式目的語 it	卒業考査
	※ENJOY COMMUNICATION! 4 What's the Matter?		・ 病院の診察の場面でのコミュニケーション活動		
【課題・提出物等】 冬休み課題，授業ノート，授業で使ったプリント，テスト訂正ノートなど					
第 3 学期の評価点方法 ・ 評点（成績）＝考査点＋平常点 ・ 考査点は学年末考査の約 7 割，平常点は出席状況，授業態度，各種課題や提出物など約 3 割					
年間の学習状況の評価方法 ・ 年間評点（成績）＝「1 学期の評点＋2 学期の評点＋3 学期の評点」の平均					

※印は進度上省く場合あり。

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「予習→授業→復習」のサイクルを習慣化しよう！予習をして授業に臨み，授業中は集中して参加し，授業後は早めに復習をすることです。 ・ 宅習で音読を毎日するのが効果的です！自然に英文が暗唱できます！ ・ 単語の暗記が苦手な人に朗報！声に出して発音しながら数回書く，というやり方を取り入れることです。視覚，聴覚，身体感覚が同時に起こることで効果アップです！
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書やノート，単語帳，辞書を毎時間必ず準備すること。 ・ 授業中は私語をせず集中して参加し，ノートをしっかりとること。 ・ 聞く，話す，読む，書く，といった学習活動の切り替えをしっかりと行うこと。 ・ 提出物は自分の力で最大限に取り組み，期限を守って提出すること。

(2) 評価の観点，内容及び評価方法

皆さんの学習状況は，「知識・技能」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の 3 つの観点で評価します

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な話題についての英語の学習を通して，言語やその運用についての知識を身に付けているか。 ・ その背景にある文化などを理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ ノート，ワークシート ・ 発表の内容や仕方
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な話題について，英語を聞いたり，読んだりして，情報や考えなど相手が伝えようとしていることを理解しているか。 ・ 日常的な話題について，情報や考えなど自分の伝えたいことを英語で話したり，書いたりして表現することができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表の内容や仕方 ・ 定期考査 ・ ノート，ワークシート ・ 授業態度
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーションに関心をもち，積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろうとしている。 ・ 誤りを恐れずに，英語を使おうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動への参加 ・ 授業態度 ・ ノート，ワークシート

3 担当者からのメッセージ

日本や日本文化への世界的な関心の高まりとともに，訪日外国人の数が平成 30 年（2018 年）にはなんと 3000 万人を突破しました。日本にいながらにしても外国人と接する機会も出てくるのが予想されます。ジェスチャーを交えながらなんとか英語でおもてなしの気持ちを伝えたいものです。身近な話題から文化に関する話題，現代社会の諸問題に関する話題などを扱いながら，これまで学習した事柄の定着を図りつつ，英語の基礎をさらに総合的に学習していきましょう。